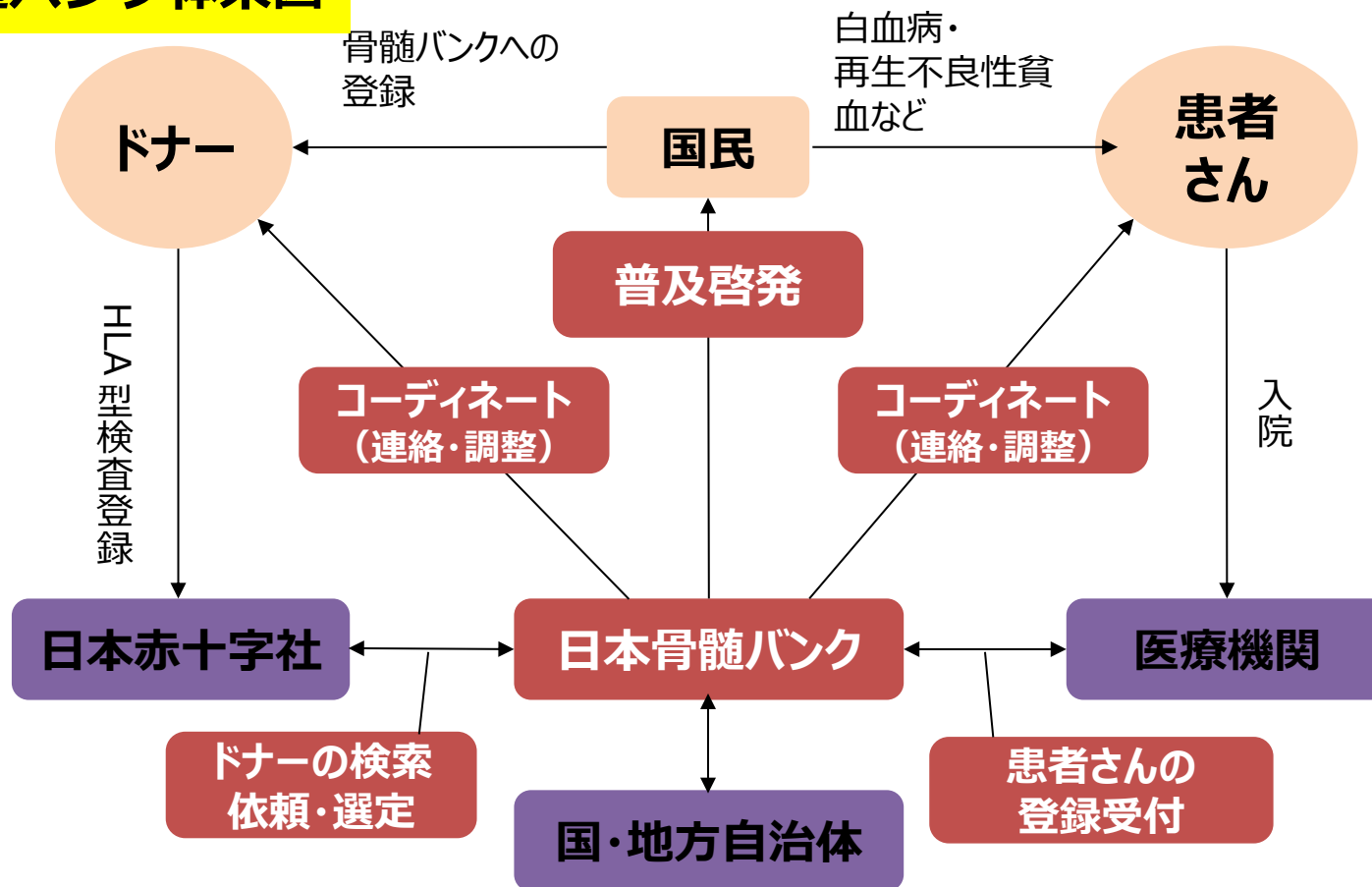


# 骨髄バンクの現状と課題



JMDP  
日本骨髄バンク

# 日本骨髄バンク体系図



地方自治体	都道府県	<p>法の基本理念に則り、国との適切な役割分担をふまえて、移植に用いる造血幹細胞の適切な提供に関する施策を策定し、主に以下の活動を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>普及啓発</li> <li>関係者間の連携確保を図るための連絡協議会などの設置運営</li> <li>保健所におけるドナー登録受付 等</li> </ol>	<p>法第5条関係、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律の施行について」及び「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供に関する指針（ガイドライン）の制定について」（H25.12.27）など</p>
	保健所設置市		
	特別区		

## ■ 骨髄・末梢血提供希望者の募集、普及啓発活動

ポスター、パンフレット、ニュースなどの発行・配布、ビデオの制作、広報資料の作成、街頭キャンペーン、シンポジウム、コンサートなどの開催。

## ■ コーディネート

患者さんとHLA型（白血球の型）の適合したドナー候補者には、コーディネーターと調整医師から骨髄または末梢血幹細胞移植についての詳細な説明があります。

ドナーの方とご家族の最終的な同意が得られたときは、移植病院と連絡をとり、移植が円滑に行われるように調整します。

## ■ 患者さんの登録

主治医からの申請により患者さんの登録を受け付けます。

患者疾患については、骨髄または末梢血幹細胞移植の適応について、厚生労働省令で定める治療目的であることを確認します。その後、日本赤十字社にHLA適合ドナーの検索を依頼します。

## ■ 移植・提供に必要な検査

患者さんとドナー候補者の適合性の確認検査やドナーの健康検査（一般血液検査）は、法人<sub>3</sub>が指定した検査機関で実施しています。

## ■ 骨髄提供者に対する補償

通常、骨髄・末梢血幹細胞を提供したことによって健康を害することはありませんが、万一の事故に備えて、提供される方には骨髄バンク団体傷害保険により補償することになっています。

## ■ ドナーフォローアップ

ドナーに対しては、提供前後の健康診断、コーディネーターによる病室訪問と電話による健康状態確認など、多面的なフォローアップを行っています。

## ■ 調査研究

効果的な普及啓発とドナー募集方法、適正で敏速なコーディネート体制の構築、骨髄または末梢血幹細胞移植の成績の向上のための、データの集積や評価などの調査研究を行っています。

## ■ 国際協力

海外の骨髄バンクと提携することにより、自国ではドナーが見つからない患者さんにもドナーが見つかる可能性があります。また、ドナー登録者の善意を幅広く生かすこともできます。法人では、国際化に対応して、平成9年4月からの全米骨髄バンク（NMDP）との提携をはじめ、台湾、韓国、中国などのアジア諸国とのネットワークづくりにも取り組んでいます。

白血病などの血液難病で正常な血液が作れなくなり、骨髄・末梢血幹移植を必要とする患者と、患者救命のために造血幹細胞（血液のもととなる細胞）の提供を希望するドナーの仲介を行うのが「骨髄バンク」である。造血幹細胞移植を成功させるには白血球の型（HLA型）の適合が重要になるが、**HLA型はきょうだい間で四分の一、他人間では数百～数万分の一**の確率でしか適合しない。家族間でドナーが見つからない患者は骨髄バンクに登録し、適合ドナーを探す。

## ドナー登録できる方

- ①骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方
- ②年齢が18歳以上、54歳以下で健康状態が良好な方
- ③体重が男性45kg以上／女性40kg以上の方

## 「ドナー登録」

全国の献血ルームや一部の保健所などで採血を行い、白血球の型（HLA型）を登録すること

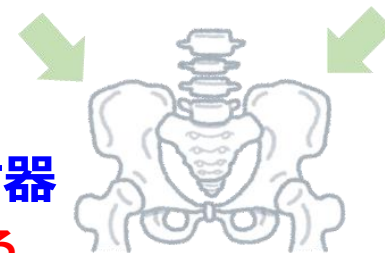
こつずい ていきょう

## 骨髄提供

1993年1月に1例目の採取実施

ドナーに全身麻酔をして腸骨（骨盤骨）に針を刺し、注射器で骨髄液を吸引する

※「脊髄」とは異なる



まっしょうけつ かんさいぼう ていきょう

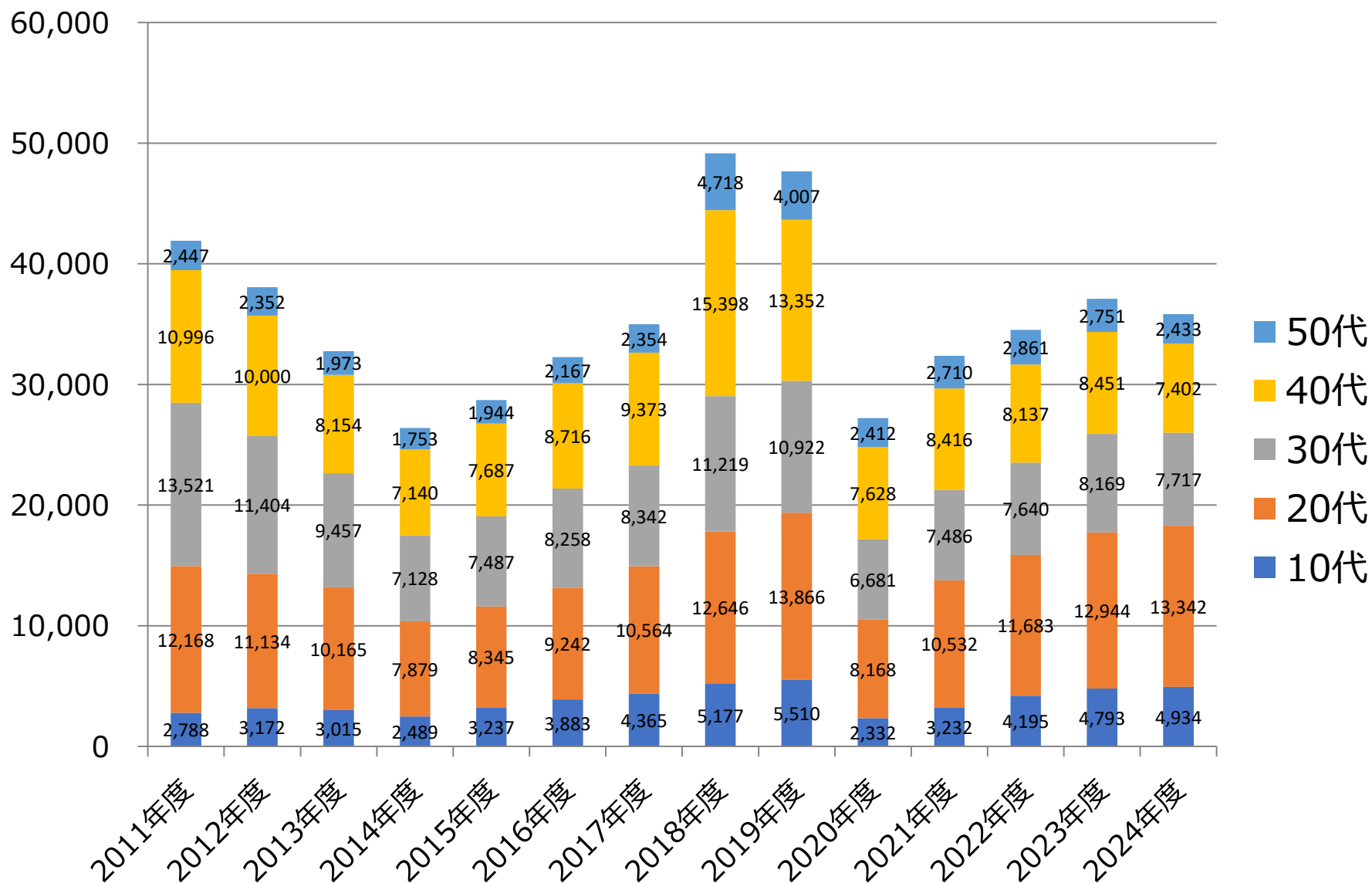
## 末梢血幹細胞提供

2011年3月に1例目の採取実施

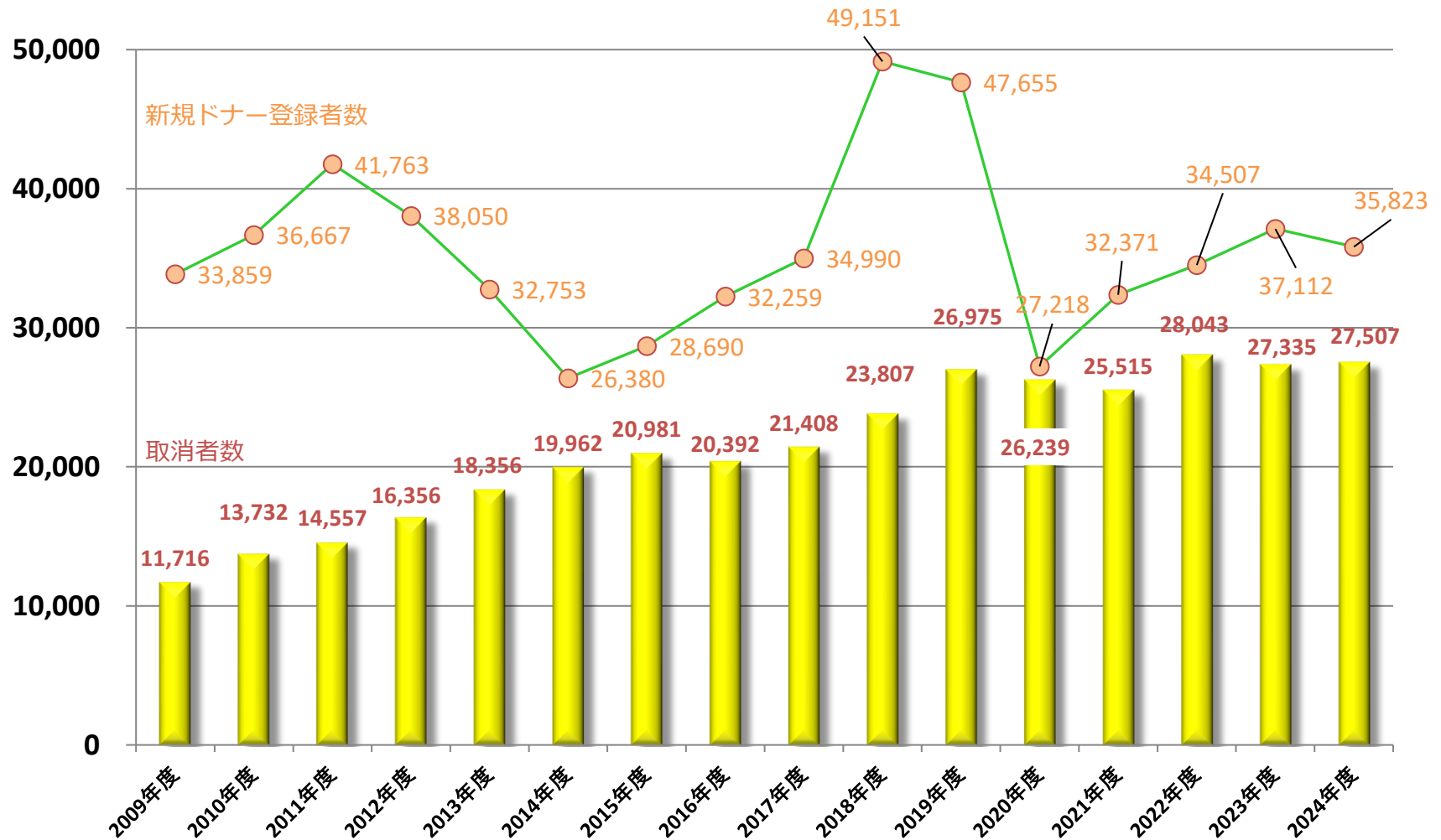
白血球を増加させる薬(G-CSF)を採取前の4～5日前から注射にて投与。末梢血（全身を流れている血液）中に増加した造血幹細胞を、血液成分分離装置を用いて取り出す



# 新規ドナー登録者数の推移（実数）



# 新規ドナー登録者数と登録取消者数の推移



## ■ ドナー登録者現在数 : 564,558名

＜内訳＞	10代登録者数	: 4,890	(1%)
	20代	// : 99,592	(18%)
	30代	// : 137,654	(24%)
	40代	// : 207,884	(37%)
	50代	// : 114,538	(20%)

※40代以上が57%

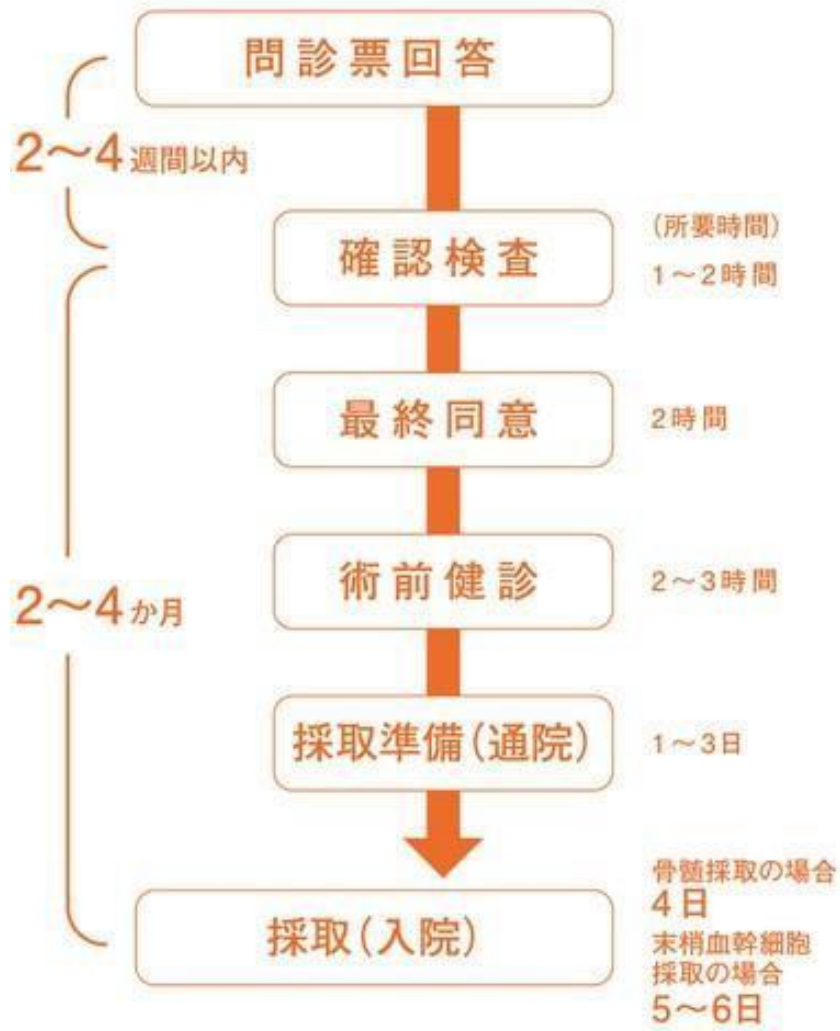
■ 患者登録者現在数 : 1,759名      累計数 : 72,174名

■ 2024年度採取例数 : 1,026名      累計数 : 29,745名

■ 2024年度国内患者の移植率 : 6割未満



# 造血幹細胞提供までの流れ



骨髄バンクを介して骨髄・末梢血幹細胞提供をする場合、説明や検査のため、**平日の日中**に医療機関へ出向いていただく必要がある。

その回数は多い場合で**8回前後**にもなり、提供時の入院や採取後の健康診断を含めると、お仕事を休む日数が**10日以上**に及ぶことも珍しくない。

**休みがとれず、提供を断念するドナーは少なくない。**

# コーディネート終了理由の内訳

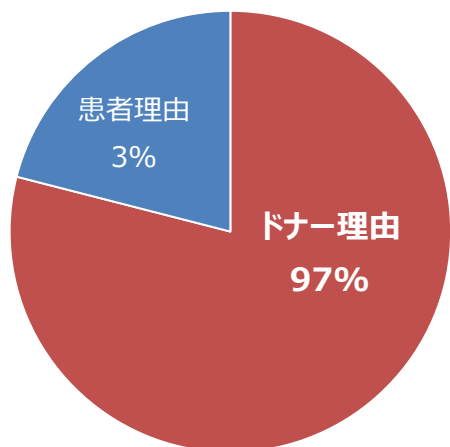
(2024年度)



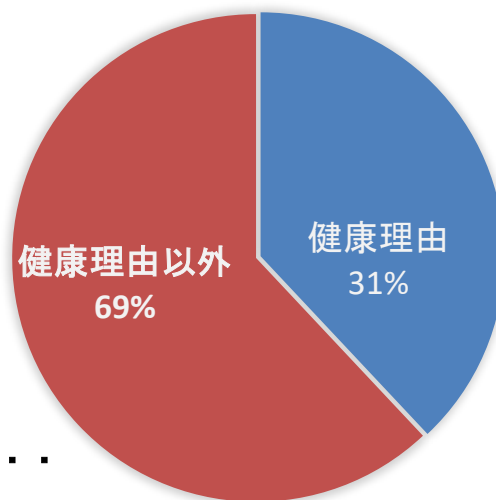
JMDP  
日本骨髄バンク

コーディネート開始件数 19,633件

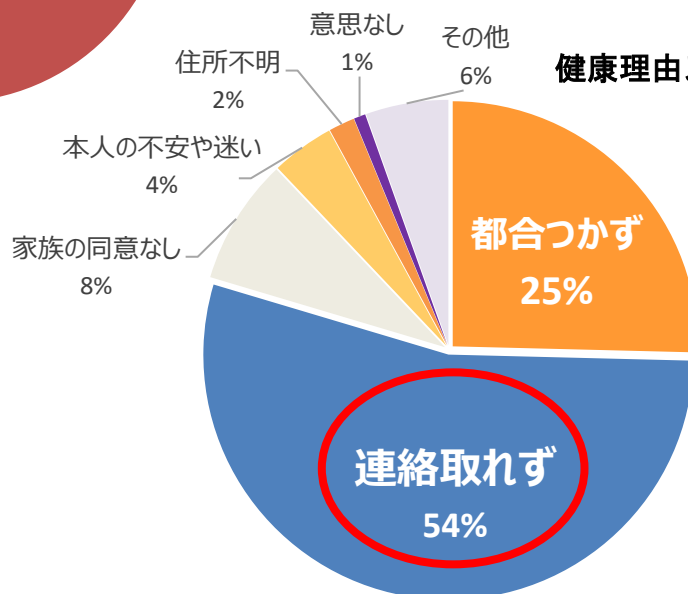
終了件数 12,176件



ドナー理由の中で...



健康理由以外の中で...



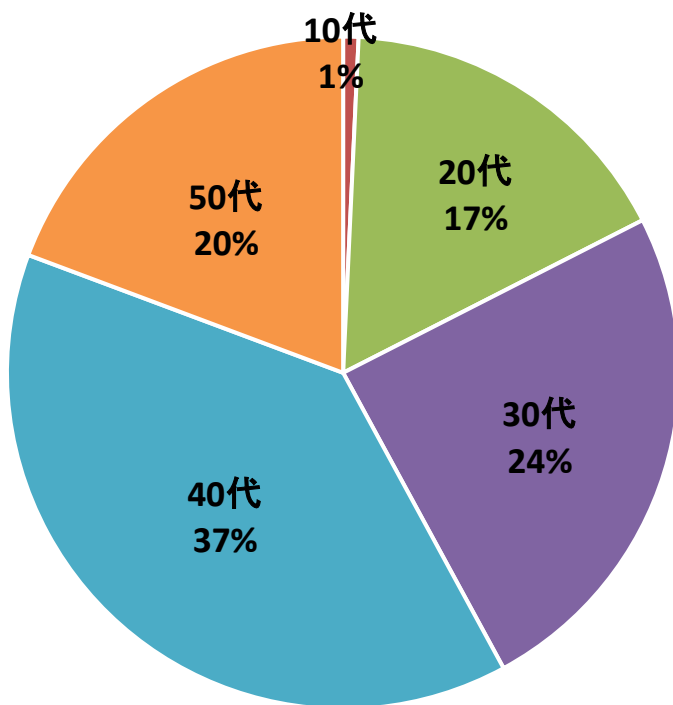
ドナーの提供意思の維持と

安心して提供できる

環境整備が急務

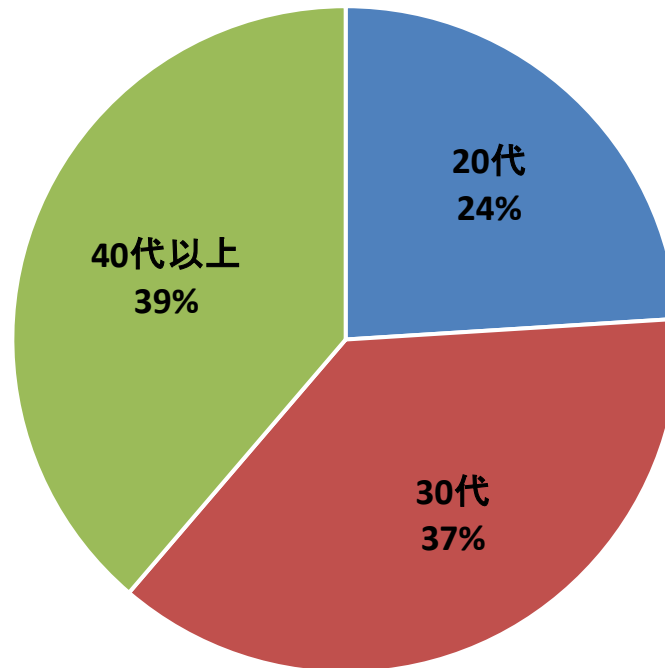
# 登録ドナー、提供ドナーの年代別比率

## 年代別ドナー登録者の比率



(2025年3月末時点)

## 年代別提供者の比率

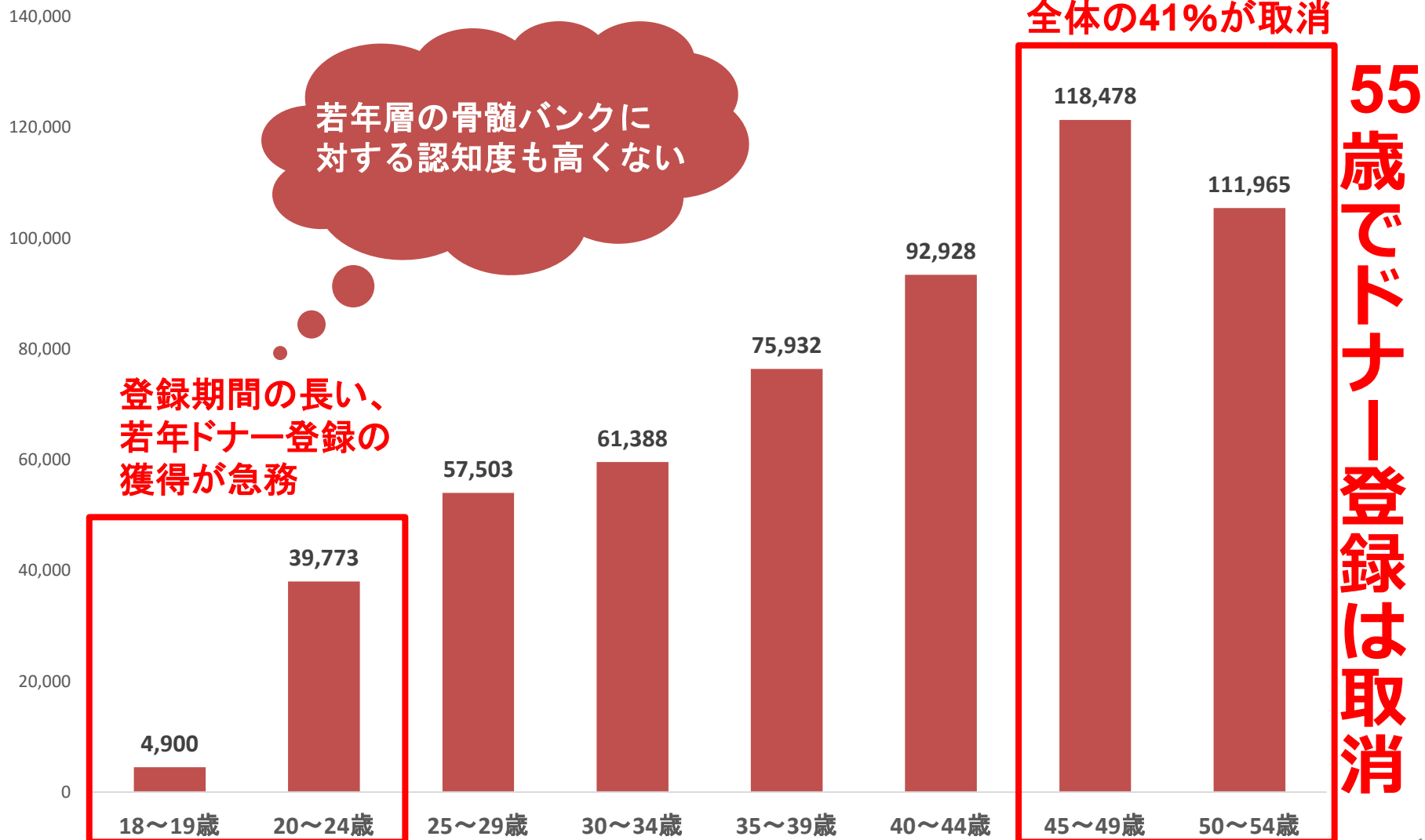


(2025年3月末時点)

若年層ドナーは「健康上の理由によるコーディネート終了」が少ない上、移植後の治療成績が良いと言われ、選ばれやすい傾向（**20代・30代の提供者は全提供者の61%**）があるが、**登録者は40代・50代が過半（57%）**を占める。

# 年齢別ドナー登録者数 (2024年12月末現在)

登録者計：562,867人



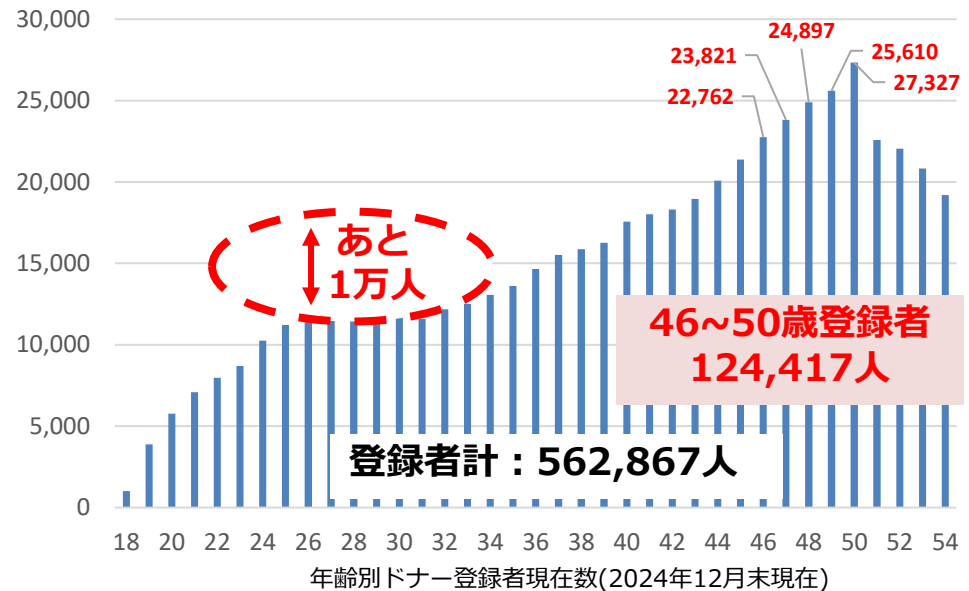
# 若年層を増やし移植成績向上を目指す

## 〔現状と課題〕

骨髄バンクドナーは55歳で登録取消となる。  
ドナープールの最も多い年齢層は46歳～50歳と  
高齢化している。(図1)  
層の厚いドナーが3年後には登録抹消となることから  
ドナープール縮小が見込まれる。

## 〔目標〕

白血病などの患者に対し、十分な移植を実施する  
ためには移植成績のよい、若年層(39歳以下)  
ドナーの登録が 年間3万人必要となる。



## 若年ドナーリクルートのための対策

### 1. スwabによるドナー登録時HLA検査導入 ⇒ オンライン登録フローの確立

オンライン申込とSwab検査を組み合わせることで、取り寄せたSwabキットで採取した検体を郵送するだけでドナー登録が可能に。  
利便性向上に加え、採血不要のため非献血人口へのリクルートを行うことが可能。

若年層は「現行の採血での登録ではなくオンライン登録&Swab検査」を希望する傾向(厚労科研・豊嶋班)

### 2. 学域でのドナーリクルート強化

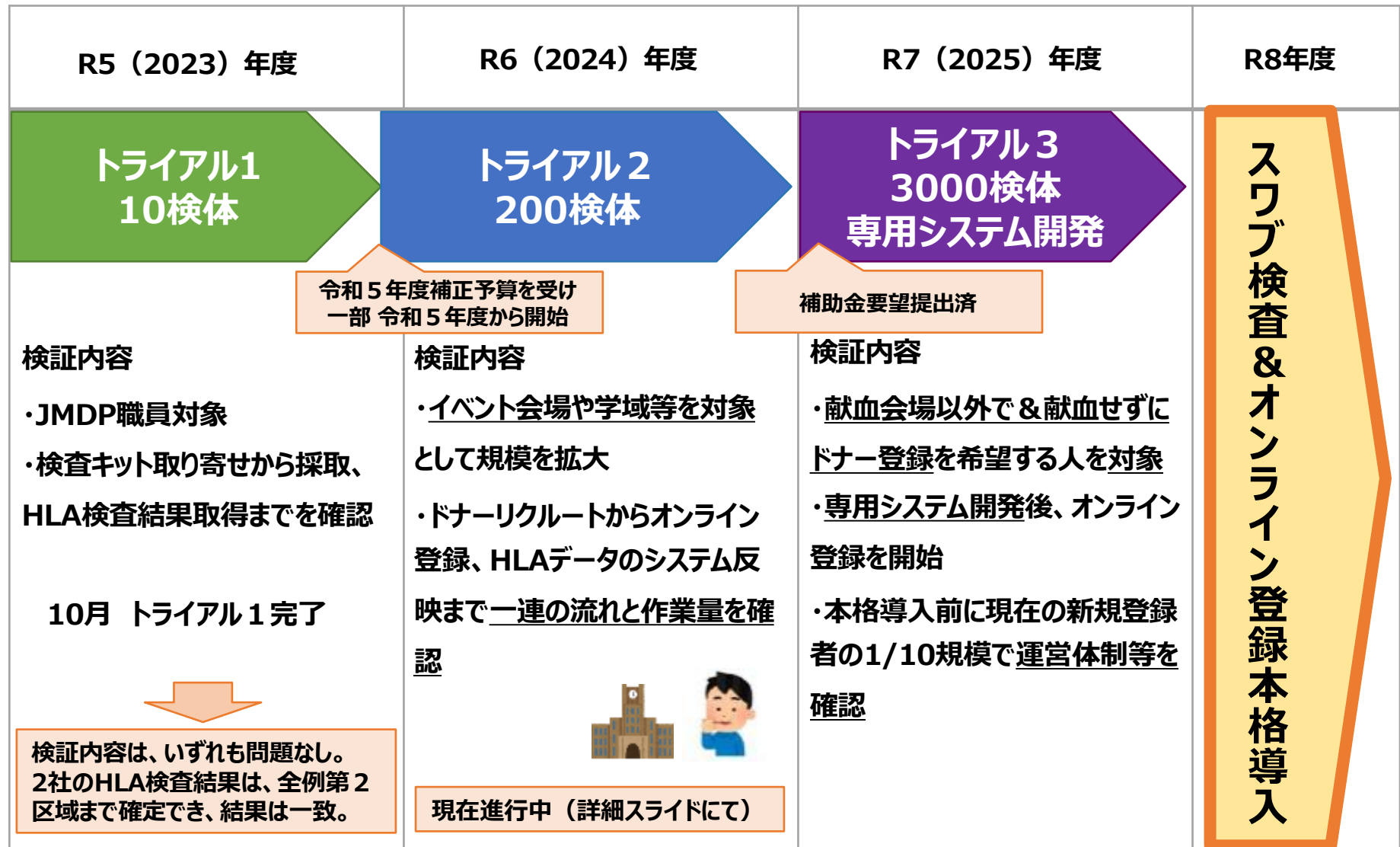
採血不要のSwab検査なら献血併行の必要がないため、大学等と連携し、学域で様々な登録機会を提供することが可能。

### 3. 適切な情報発信によるドナーリクルート/ドナーリテンション/社会機運醸成

SNSやホームページから適切な情報発信を行い、登録希望者・ドナー登録者の提供意思決定をサポートし、若年ドナーが提供しやすい社会環境を導く。



# 骨髄バンクドナー スワブ検査&オンライン登録導入に向けたロードマップ<sup>o</sup>



# 配布チラシ（サンプル）

スマートフォン・PCから  
登録できます！

**骨髄バンクにドナー登録を！**

\*これまでドナー登録をされていない方が対象です

1



**オンライン  
申し込み**

下の二次元コード  
からお申し込み

2



**ご自宅で  
採取**

検査キットを郵送で  
お届けします。

3



**ポスト投函**

送料のご負担は  
ありません。



会場コード

※会場コードはオンラインでの  
申し込み時に入力が必要です。

※現在、トライアルとして期間・人数等を絞ってご案内  
しています。予定数に達した時点で終了となります。  
※左記の二次元コードは本チラシを受け取った方のみ  
有効です。



(公財)日本骨髄バンクは、血液疾患の治療のために造血幹細胞  
の移植を必要とする患者とドナーをつなぐ公的機関です。

お問合せ：日本骨髄バンク オンライン登録担当 03-5280-1789（平日9時～17時30分）



## ドナー大幅減少の危機！

ドナー登録は55歳で卒業

現在、ドナー登録者の  
6割近くが40代以上です。

骨髄バンクのドナーは  
55歳で卒業のため、

このままでは、10年後にはドナーの  
半分近くがいなくなってしまう。



## 患者さんのいのちを救うため、 より多くのドナー登録が必要です。

現在、ドナー登録者はおよそ55万人。

それでも、移植を希望する患者さんは**2人に1人しか  
その希望が叶いません。**

白血病など重い血液疾患の治療には、  
白血球の型が適合するドナーからの移植が必要です。

しかし、その**適合の確率は数百～数万分の一。**  
ドナーを見つけるのはとても難しいことなのです。

**今、あなたの力を必要としています。**

## 移植を受けた患者さんからのメッセージ

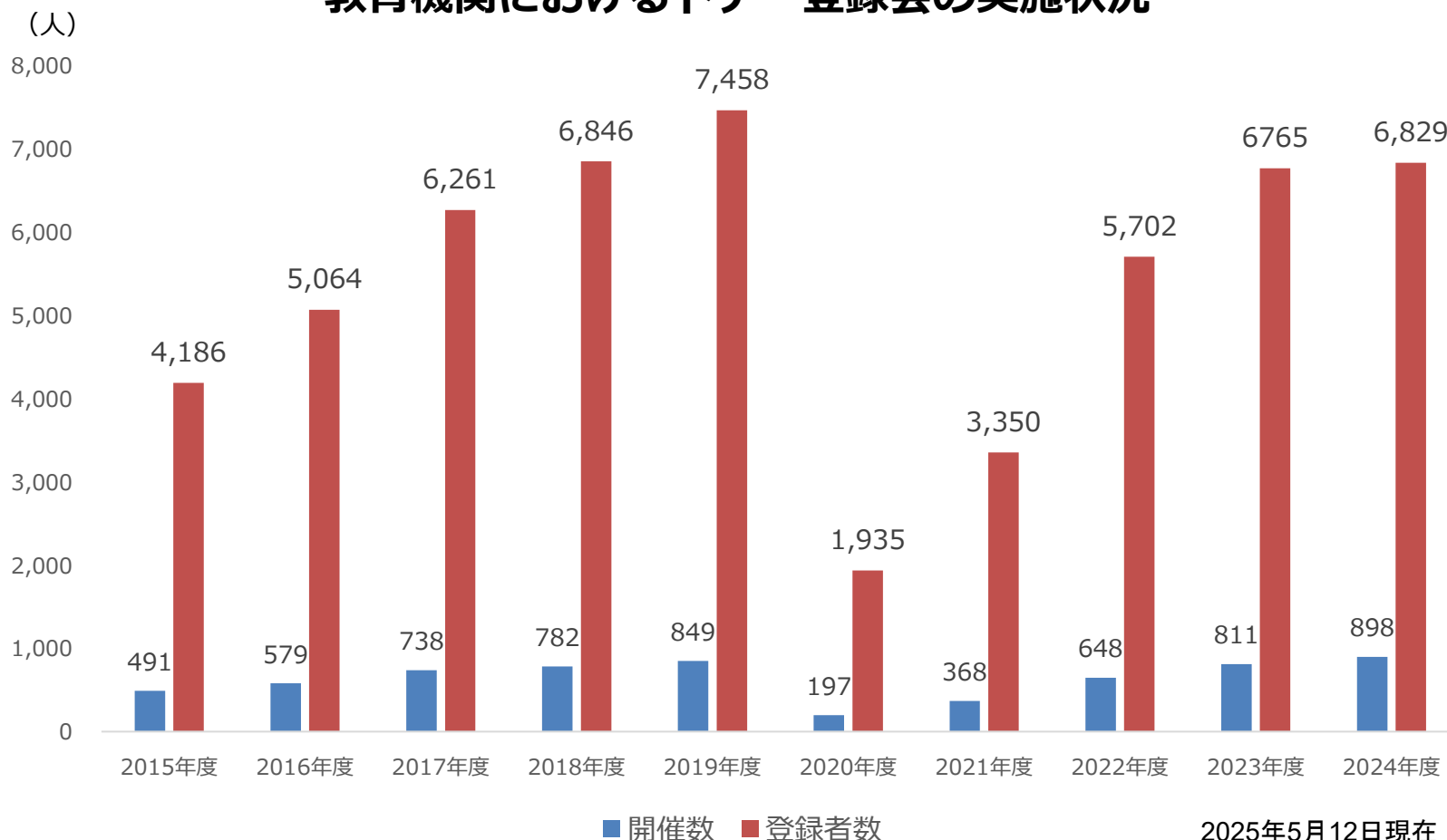
大学在学中に急性骨髄性白血病を発症しました。移植を受け、発  
症から2年後に復学することができました。名前も知らない私の  
ためにドナーになってくれたことは感謝してもしきれません。多  
くの方に支えられて治療を乗り越えることができました。



骨髄バンクでは、移植後の治療成績が良く、登録期間が長い10代、20代への普及啓発に注力している。

大学献血におけるドナー登録会の実施や、10代、20代のボランティア「骨髄バンクユースアンバサダー制度」を導入、同世代への情報発信やドナー登録推進など、様々な活動を行っている

## 教育機関におけるドナー登録会の実施状況





# 患者移植率向上のために ～ドナーが提供しやすい環境の整備～①

## ■ ドナー休暇制度

**検査、面談、入院などのための休暇を、勤務先が特別休暇として認める制度。**

「ボランティア休暇」などの適用範囲としている企業もあり、ドナーの心理的、肉体的な負担軽減となっている。現在900を超える企業が導入。さらなる導入の推進のため、企業・人事に向けた動画を新たに作成。（2025年7月末）

ドナー休暇制度導入のお願い（約6分）  
～企業の人事・総務に向けた内容～

ドナー休暇制度をご存知ですか？（30秒）  
～ドナー登録者に向けた内容～



<https://youtu.be/-lVdTjlxpO4>



<https://youtu.be/NagbC6OS0tI>

**関係団体への周知、企業への働きかけが必要**

# 患者移植率向上のために ～ドナーが提供しやすい環境の整備～②

## ■ ドナー公欠制度

**授業や出席日数を心配せずに大学を休むことができる制度。**

通院日や入院日だけでなく、施設への移動日も公欠扱いとなる大学もあり、17校で導入済み（※2025年6月）

## ■ 自治体によるドナー助成制度

**自治体が助成金を支給する制度。**

通院や入院のために仕事を休むことが減収につながる自営業者や非正規雇用者などのサポートが目的。全国1,718の自治体の内、1,000を超える自治体が導入。

**仕事の休みがとれない、有給休暇がない社員、自営業や非正規労働者、授業が休めない学生などが提供できるよう、制度導入の働きかけが必要**

# 語りべ講演会とは

健康を取り戻した移植患者さん・提供者さんによる貴重な体験をお伝えします。「いのちの大切さ」を伝えることで、若い世代の方々にドナー登録や提供について考える機会としていただいております、教育機関や、20代・30代が多く在籍する企業の新人研修などでの開催を呼びかけています。

※オンラインでの開催を推奨しています。



～専門学校での語りべ講演～

## 生徒さんの感想（一部抜粋）

移植の内容などは、インターネットなどで知ることができてしまうけど、実際に闘病した苦しみや感じたことは調べてもインターネットでは出てこない。直接お話を聞くことができ、自分も病気と闘っている人を助けることができるかもしれない、と感ずることができました。（東京都・中学3年生）

僕は死ぬのが怖い。でも誰かが死ぬのも同じぐらい嫌だ。そう思うとドナー登録してもいいような気がした。（和歌山県・中学2年生）

# 語りべ講演会開催について

## ～開催の流れ～

- ①講演希望日の1～3か月前に当法人に連絡
- ②主催者が計画書を提出  
※地区普及広報委員・説明員特設サイトからダウンロード可能  
[https://www.jmdp.or.jp/setsumeiin\\_info.html?openExternalBrowser=1](https://www.jmdp.or.jp/setsumeiin_info.html?openExternalBrowser=1)
- ③当法人が語りべ講演者を調整  
※講演料・交通費は当法人が負担（**オンライン推奨**）
- ④講演会場、PC、プロジェクター、Web会議システム（オンラインの場合）をご用意ください
- ⑤講演会開催  
実施後、報告書のご提出をお願いします

## ～一般的なプログラム～

### 【大学・専門学校などでの講義時間(90分)】

- ①骨髄バンクの現状と課題 15分
- ②移植経験者からの講演 30分
- ③提供経験者からの講演 30分
- ④質疑応答 15分

### 【高校・企業などでの講演時間(50分)】

- ①骨髄バンクの現状と課題 15分
- ②移植経験者からの講演 25分
- ③質疑応答 10分

※移植経験者単独の講演（20分程度）も可能です。

## ■お問合せ

公益財団法人 日本骨髄バンク 広報渉外部 語りべ講演会担当  
TEL : 03-5280-1789/Email : kouhou@jmdp.or.jp

— 骨髄バンクの使命 —

1人でも多くの患者さんに移植の機会を提供すること



日 本 骨 髄 バ ン ク